

成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

株式会社土居工作所 精密機械加工部品

一貫体制を整え顧客を拡大 景気の谷への準備も怠らず 地域になくてはならない企業へ

立体図面を設計する「CAD/CAM」、5軸加工機をはじめとする「複合機械」、工作機械に部材を送り出す「自動給材機」、さらには「精密検査機器」までそろえるなど、精密機械部品加工を一貫して効率よく行える強みを生かし、着実に業績を伸ばしています。

代表取締役の小田垣智哉社長が、末期がんを患っていた創業者の祖父に呼び寄せられ豊岡に戻ったのが2003年のこと。「月収40万円の言葉につられたのですが、実際は月商40万円でした」と苦笑しながら当時のことを振り返ります。それからがむしゃらに働き、1年で年商2,000万円に。アルバイトに頼る現場から正社員雇用を進め、成長軌道に乗った矢先、リーマン・ショックに見舞われました。

産業装置に偏った顧客の業種構成を見直そうと、毎年のようにひょうご産業活性化センター主催の商談会に参加。名刺交換した企業に翌日アポを申し込む積極性が功を奏し、3社だった主要取引先は9社にまで増え、薬剤を扱う装置や、多関節ロボットなどの「医療・ロボット」関連、

電車車両部品やエレベーター向けなどの「公共・建築」関連へと業種の幅も広がり、リスク分散できる体制も整いつつあります。

2003年当時は3人だった従業員を16人に、2,000万円だった売り上げを2億円にまで成長させた小田垣社長の次の目標は「2024年に従業員21人、売り上げ3億円」です。ただ、景気の谷への準備も怠りません。リーマン・ショック時の教訓を生かし、「半年間仕事は一切なくても会社を維持できるようキャッシュを厚くする」一方で、新たに多関節ロボットを導入し、単純作業の自動化を進めています。「景気の谷を抜け、競合が淘汰された後に鍵となるのが人材」と考え、人材確保に注力する戦略も練っています。

2年前に2,800坪の本社工場用地を出石町に確保し、日高町から移転。「1坪5,000円で土地を手に入れられるのが地方立地の強み」と語る小田垣社長。地域での雇用を増やし、活性化に貢献する「地域になくてはならない企業」を目指しています。



CAD/CAMと連動した5軸加工機



同社が手掛ける精密機械加工部品

◎株式会社土居工作所の
精密機械加工部品

株式会社土居工作所 / 所在地: 豊岡市出石町安良3-18 / 代表取締役: 小田垣智哉
事業内容: 精密機械部品加工
TEL 0796-34-8030 / URL <https://doi-tec.com/>



編集後記

「成長期待企業のイチオシ!」で取材した土居工作所の小田垣社長は、長期的な視野で攻守を固め、次の谷を乗り越えた先にあるビジネスチャンスをしっかりと感じていることが印象的でした。

JUMP

2019年8月号 令和元年7月30日発行
発行人: 赤木正明 編集人: 政辻孝克

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター

神戸市中央区東川崎町1-8-4

神戸市産業振興センター1階・2階・7階

TEL 078-977-9070(代) URL <https://web.hyogo-iic.ne.jp/>